

白岡市議会議員

渡辺そういちろう

市政通信 Vol. 29



白岡市は10月1日で市制施行10周年となりました。これまでの10年を振り返ると、新図書館の建設や圏央道ICの開通、最近では新しい路線バスの運行開始等がありました。これからも10年はもっと大きな夢を描いて、まちづくりを皆さんとともに進めていきたいと思います。行政の慣習や慣例に囚われず、新しい取り組みにも挑戦していきます。

白岡中央総合病院の移転は

令和7年に白岡中央総合病院が市内移転する事が決まっています。移転の理由は建物の老朽化と周辺道路が狭いためです。市も市税を投入し、多額の補助を行います。白岡の医療は課題が多くありますので、病院移転を単なる場所の移動で終わらせるではなく、市の医療環境の質の向上に繋げるべきと考えます。



白岡の医療環境の課題！

近年、救急車が複数の病院で受け入れを断られる「救急患者のたらい回し」が増加しています。埼玉県は人口当たりの医療資源が不足しているが、コロナ禍で救急医療などの一般医療はさらに圧迫されています。感染症やパンデミックに対応できる医療環境を創る事が急務と考えます。特に利根医療圏（白岡市も属しています）は病床数も医師数も不足しています。小児2次救急（子どもの救急）も受け入れ先が少なく、課題があります。地域の医療環境の抜本的な再構築が必要と考えます。そのためには、埼玉県の地域保険医療計画を見直さなければなりません。利根医療圏のベッド数増加と、大学等と連携した医師の確保が重要です。市と県を動かし、国とも連携し、実現していきたいと考えています。



白岡中央総合病院と連携。
医師の確保など現場の課題
を伺う。



がん患者会「すみれ会」ととも
に医療フォーラムを開催。
白岡中央総合病院の院長先生
にご講演頂きました。

良い病院をつくるには、病院
はもちろん、行政、地域の方々の力
が必要です。議員としてそれらを結
びつける役割をしっかりと果たして
いきたいと思います。



新白岡駅駐輪場の閉鎖で

新白岡の駐輪場が閉鎖しましたが、閉鎖に伴い、市民の方から「屋根付きの駐輪場が無くなると困る」という声や「月極のバイク置き場が必要」という声を頂いていました。そうしたご意見を踏まえ、議会の一般質問等で対応策を市と議論。その結果、新白岡駅のホーム沿いの駐輪場に「屋根付きバイク置き場」の設置が決まりました。JRとも合意が取れ、11月から12月ごろに完成する予定とのことです。



新白岡駅周辺の整備

「新白岡駅東口のトイレが古いので改修が必要ではないか」という要望を頂きました。新白岡駅東口のトイレはバリアフリー化もまだできていない状況です。新白岡駅周辺はロータリーの雑草除去等の環境美化とともに、段差の解消等も必要です。トイレも含めて新白岡駅周辺環境の総合的な環境向上について、取り組んでいきたいと思います。



住民票のコンビニ発行

今般、住民票の写しのコンビニ交付が決まりました。市のデジタル化については議会で何度も取り上げてきており、徐々にではありますが、デジタル化が前に進んでいる事は嬉しいです。今後は住民票だけでなく、例えば保育所の入所申請などもオンラインでできるようにする等、あらゆる申請を市役所に行かなくて済むようにしていきたいと考えています。



活動報告



【渡辺 そういちろう PROFILE】

IT企業勤務を経て、衆議院議員平沢勝栄の公設秘書として政治活動に参加。2015年春より白岡市議会議員として活動。明治大学大学院ガバナンス研究科卒業。公共政策修士。

渡辺 そういちろう にて是非ご検索ください！

090-7197-6173 <http://www.so-wat.net>



新白岡ヒルズマルシェへ

新白岡ヒルズマルシェにお手伝いで参加しました。2回目の開催との事ですが、前回以上の大盛況で驚きました。4年前、友人4人でマチナカマルシェを始めた頃は、マルシェがこんなに街に根付くとは思いもしませんでした。こうした地域イベントが増えて、街が活性化していくと良いなと思います。



TO BE CONTINUED . . .